

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成29年 2月 1日
【会社名】	株式会社ヘリオス
【英訳名】	HEALIOS K.K.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長兼CEO 鍵本 忠尚
【本店の所在の場所】	東京都港区浜松町二丁目 4番 1号
【電話番号】	03-5777-8308
【事務連絡者氏名】	管理領域管掌執行役員 石川 兼
【最寄りの連絡場所】	東京都港区浜松町二丁目 4番 1号
【電話番号】	03-5777-8308
【事務連絡者氏名】	管理領域管掌執行役員 石川 兼
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町 2番 1号)

1【提出理由】

当社は、平成29年1月31日開催の取締役会において、株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所に対して、BBG250を含有する眼科手術補助剤にかかる事業を譲渡することについて決議いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事業の譲渡先の名称、住所、代表者の氏名、資本金及び事業の内容

名称 : 株式会社デ・ウエスタン・セラピテクス研究所
住所 : 愛知県名古屋市中区錦一丁目18番11号
代表者の氏名 : 代表取締役社長 日高 有一
資本金 : 2,945百万円(平成28年12月末現在)
事業の内容 : 医薬品研究開発

(2) 当該事業譲渡の目的

当社は、世界中の難治性疾患の罹患者に対して治癒と希望を届けるべく、iPS細胞を培養・分化誘導して作製した人体組織と同等の機能を持つ再生医療等製品の開発を行うiPSC再生医薬品分野の開発に取り組んでまいりました。さらに平成28年1月には当社の事業ポートフォリオの新しい柱となる体性幹細胞再生医薬品分野のパイプラインを導入いたしました。これらと並行し、化学物質の合成によって医薬品を作製する従来型の化合物医薬品分野として本事業を進めてまいりました。

体性幹細胞/iPSC再生医薬品など、新しい再生医療等製品の開発を推進し実用化を目指すには、それらの技術を加速させるための新技術・ノウハウを積極的に獲得していくことも重要です。そこで当社の経営資源を細胞医療に集中し、『「生きる」を増やす。爆発的に。』というミッションのもと、アンメットメディカルニーズ(未だ有効な治療法のない治療ニーズ)の高い疾患領域における複層かつ多層的なパイプライン戦略を進めるため、本事業を譲渡することを決定いたしました。

(3) 当該事業譲渡契約の内容

譲渡日 : 平成29年4月30日(予定)
譲渡資産及び負債 : 譲渡する貸借対照表上の資産・負債はありません。
譲渡価額 : 譲渡時に一時金13億円を受領いたします。また、開発や導出の進展等に伴い、マイルストーン収入を受領する可能性があります。

以 上